

使用上の注意改訂のお知らせ

—— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。 ——

スルホニルウレア系経口血糖降下剤

日本薬局方 グリメピリド錠

グリメピリド錠 0.5mg「イセイ」

劇薬
処方箋医薬品^{注)}

グリメピリド錠 1mg「イセイ」

グリメピリド錠 3mg「イセイ」

GLIMEPIRIDE Tablets 0.5mg・1mg・3mg

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

製造販売元 コーアイセイ株式会社

山形市若葉町13番45号

TEL 023-622-7755

FAX 023-624-4717

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品に対しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、標記製品の【使用上の注意】を下記のとおり**自主改訂**することになりましたので、ご案内申し上げます。

今後とも、一層のお引き立てを賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹 白

記

1. 改訂内容

■ 下線部改訂箇所 ■ [_____ : 自主改訂、 _____ : 削除]

改 訂 後		改 訂 前	
【使用上の注意】		【使用上の注意】	
3. 相互作用		3. 相互作用	
本剤は、主に肝代謝酵素 CYP2C9 により代謝される。		本剤は、主に肝代謝酵素 CYP2C9 により代謝される。	
併用注意（併用に注意すること）		併用注意（併用に注意すること）	
(1) 血糖降下作用を増強する薬剤		(1) 血糖降下作用を増強する薬剤	
1)～2)－現行の通り－		1)～2)－省略－	
3) 薬剤名等：作用機序		3) 薬剤名等：作用機序	
薬剤名等	作用機序	薬剤名等	作用機序
－現行の通り－		－省略－	
プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナト リウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制[これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]	ピラゾロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン	血中蛋白との結合抑制、 腎排泄抑制、肝代謝抑制
アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウ ム水和物 ナブメトン 等		プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナト リウム水和物 等	－省略－
オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等		アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウ ム水和物 ナブメトン 等	血中蛋白との結合抑制[これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。]
－現行の通り－		－省略－	
(2) 血糖降下作用を減弱する薬剤		(2) 血糖降下作用を減弱する薬剤	
－現行の通り－		－省略－	

その他の項目は現行の通りです。

裏面へつづく

2. 改訂理由

自主改訂

販売中止製剤名に関する記載整備

なお、本件に関する改訂内容は「弊社ホームページ」(<http://www.isei-pharm.co.jp/>)にも掲載しておりますので、宜しくお願い申し上げます。

本添付文書改訂情報は医薬品医療機器総合機構のインターネット情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)に最新添付文書並びに医薬品安全対策情報DSU No. 257(3月発行予定)に掲載されますので、あわせてご利用下さい。